

# 目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[背景説明](#)

[フィルタを作成して下さい](#)

[ルール例](#)

[関連情報](#)

## 概要

この資料に Simple Mail Transfer Protocol ( SMTP ) 認証済みユーザに基づいてフィルタを作成し X ヘッダにユーザ名を記録する方法を記述されています。

## 前提条件

Cisco は AsyncOS バージョン 6.5 および それ以降の知識があることを推奨します。

## 背景説明

SMTP 認証機能はに接続するために顧客がクライアントのために SMTP 認証および E メールセキュリティ アプライアンス ( ESA ) からのメール送信を使用することを可能にします。機能は認証済みユーザが中継で送ることを可能にするのでユーザが「からの造ることは可能性のあるです:」彼らが Cisco ESA を通して送信する電子メールのフィールド。ユーザを鍛造材から防ぐために、ESA AsyncOS バージョン 6.5 および それ以降は今認証された SMTP ユーザ ユーザ名に対して比較および eメールアドレスからのメールを可能にするメッセージ フィルタ状態が含まれています。

## フィルタを作成して下さい

メッセージ フィルター状態は管理者がルール例と同じような SMTP 認証 セッションによって中継で送られた発信である電子メールを比較する次のセクションにフィルタを書くことを可能にします。SMTP 資格情報が妥協される場合、電子メールを送信するマシンは通常メールとしてからの使用されるべき複数のアドレスを生成します: ヘッダ。メッセージ フィルター状態はユーザ名およびメールからのだけ電子メールが去るようにします: ヘッダー一致。さもなければ、電子メールは造られたメールとからのみなされます: およびメッセージ フィルター操作アクティブ化。メッセージ フィルター操作はどの最終措置である場合もあります; ルール例は検疫操作を示します。フィルター条件にこの構文があります:

フィルタ割り当てこれらのターゲットの 1 つに対する比較:

- **EnvelopeFrom:** メールでからの規定されるアドレスを比較します: SMTP メッセージ交換。

- **FromAddress:** からからの解析されるアドレスを比較します: ヘッダ。複数のアドレスがでからの許可されるので: ヘッダは、1 だけ一致する必要があります。
- **送信側:** 送信側で規定される アドレスを比較します: ヘッダ。
- **:** 認証された SMTP セッションの間に作成されたメッセージと一致します ( 識別に関係なく )。
- **None :** SMTP 認証が好まれるとき ) 認証された SMTP セッションの間に作成されなかったメッセージと一致します ( たとえば。

SMTP AUTH ID	ふるい文字	比較アドレス	一致か。
someuser		otheruser@example.com	なし
someuser		someuser@example.com	○
someuser		someuser@face.localhost	○
SomeUser		someuser@example.com	○
someuser		someuser+folder@example.com	なし
someuser	+	someuser+folder@example.com	○
someUser@example.com		someuser@forged.com	なし
someUser@example.com		someuser@example.com	○
someUser@example.com		someuser@example.com	○

この可変代替は、\$SMTPAuthID、中継で送るのに使用されたオリジナル認証クレデンシャルのヘッダの包含を可能にするために作成されました。

## ルール例

注 このフィルタは呼出される検疫を造ってもらうことを仮定します。

## 関連情報

- [IronPort E メール セキュリティ アプライアンスのための IronPort AsyncOS アドバンスド ユーザー ユーザーズ ガイド](#)
- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)